

令和7年香美市議会定例会3月定例会議一般質問

質問者・質問方式	質問事項	質問要旨	質問の相手	答弁者
<p>11番 山崎 晃子 一問一答 (答弁80分うち質問40分)</p>	<p>1. 教育長人事を巡って</p>	<p>【進展を願って…】</p> <p>① 教育長問題が進展しないまま、新年度を迎えようとしている。教育長人事に関し、今後の対応と提案はいつごろになるか。</p> <p>② 昨年9月定例会議において、市長は、前回提案した方は選択肢として残しており、全くの白紙ではない旨の答弁をされた。しかし、前回提案した方は既に断っていることだが、いつ断られたのか。</p>	<p>市長</p>	<p>市長</p> <p>〃</p>
	<p>2. 介護保険制度について</p>	<p>【介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らしたい…】</p> <p>介護保険がスタートして25年。団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる節目の年である。しかし、3年ごとの介護報酬改定で「マイナス改定」が続き、利用抑制と負担増を繰り返してきた。</p> <p>昨年の介護事業者の倒産は172件で過去最多。「休業・廃業・解散」は612件に上った。今後、介護需要はさらに増加するとみられるが、このままでは必要なサービスが受けられない「介護難民」が生じる恐れがある。介護職員の確保と経営環境の改善が差し迫った課題である。</p> <p>① 昨年的一般質問で、訪問介護事業者の影響調査をすべきだと訴え、高齢者福祉計画等策定委員会において、高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況報告を行っており、介護報酬引き下げの影響についても調査を行うとの答弁があった。調査内容と結果を聞く。</p> <p>② 訪問介護事業所は、報酬引き下げと物価高騰・人材不足などで大変厳しい運営状況下にある。特に、中山間地域のサービス提供や小規模事業所の運営は、採算が取れない状況だと聞く。本市は広大で急峻な地形の中にあり、利用者にとっても、サービスの提供を受けられなくなれば、その影響は計り知れないものである。市として支援策を講じる必要があるのではないか、見解を聞く。</p> <p>③ 介護人材確保支援事業助成金の利用状況と事業効果は。</p> <p>④ 小規模多機能型居宅介護事業所の整備について、見通しは。</p>	<p>市長</p>	<p>高齢介護課長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>